

第2回多治見市役所新庁舎検討市民委員会 会議録	
日 時	令和3年3月19日（金）午後1時30分～午後3時37分
会 場	多治見市役所本庁舎 5階全員協議会室
出席委員	小林甲一委員（会長）、柴田錦見委員（副会長）、佐藤喜好委員、田嶋義晋委員、加藤恒文委員、坂崎雄介委員、佐々木千裕委員、堀尾憲慈委員、今枝寛彦委員、小口英二委員、西尾英子委員
欠席委員	安部正一委員
事 務 局	富田総務部長、福田総務課長、古田課長代理、石田主査、渡邊主任
傍 聴 人	9名
報道機関	4社
会議結果 要旨	
1. 「建替えの必要性」については、特に意見がなかった。 2. 交通渋滞の解消、公共交通の維持、駐車場の確保、車とまちづくりとの関係、ICTによる社会の変化、費用などが主な課題として議論された。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
2 議事 委員長	議事は本質的に2本であるが、（2）の「多治見市の将来像と新しい市庁舎構想」を追加した。議事に入る前にその趣旨について説明したい。これまで「将来像と新しい市庁舎構想」と「新庁舎に求められるもの」が一緒になっていたが、切り離した方が議論をしやすいとの判断である。理由は2点ある。一つは、市庁舎は本庁舎と駅北庁舎であり、建替える場合は新しい本庁舎とすでにある駅北庁舎を活かしながらどうするかという難しい議論について、これまでも市議会や行政との間で議論してきたが、新しい市庁舎構想として取り出してしっかり議論する必要がある。 もう一つは、多治見市の将来像は皆が持っているものであるが、タイトルとして明示して、委員会の中で共有する必要がある。委員会の宿題として駅周辺のまちづくりと現本庁舎が移転した場合のこの周辺のまちづくりを共有するものである。議論の整理をし、その上で（3）「新庁舎に求められるもの」へ進んでいくという趣旨である。（2）の部分を経後の議論で常に意識しておいて頂き、議論していきたい。
（1）「建替えの必要性」について事務局資料説明	
事務局	（資料1に沿って説明）
委員長	質問はあるか。 質問、ご意見がないようなので、今日のところは建替えの必要性についてはご理解頂いたとして進めていくが、中間報告の中に盛り込む段階で委員会としての判断が必要となると考える。 次に「多治見市の将来像と新しい市庁舎構想」について、この委員会では多治見市の将来像そのものを議論するものではなく、新しい市庁舎、本庁舎の建替えとしての新庁舎について考えを向け、意見交換もそちらに集約していきたいので、ご理解頂きたい。

	委員の皆様も行政に関わって頂いている中で、将来像についてはご理解を頂いていると思うが、改めて事務局からの総括的な説明を聞いて頂き、そこから新しい市庁舎構想へ繋げていきたい。
(2)「多治見市の将来像と新しい市庁舎構想」について事務局資料説明	
事務局	(資料2に沿って説明)
委員長	ただいまの説明についてご質問、ご意見はあるか。
委員	7次総の後期計画は内容的には素晴らしいが、一般にはわかりにくい。ビジュアル的にもわかるようにして、地区懇談会や広報の特集等で市民の方に知ってもらう努力をして欲しい。
委員長	委員のご意見は、新しい庁舎について市民の方に理解しやすくするという入口として重要なことである。
委員	立地適正化計画について、メニューは揃っているが、どのように実現しているか見えない。マスタープランの中の路線バスについて、ききょうバスは中心市街地を走るが、利用者が増えているとの実感がない。駅まで歩いていけない地域のバスの路線は、路線はあるがバスは走っていないと認識している。公共交通機関に頼らざるを得ない地域のバスの路線を増やす企業努力が足りないと感じる。路線バスは当てにならないので、マイカーに頼らざるを得なくなり、それで益々減便する。マスタープランのメニューが揃っているだけではいけないので、もっと推進する必要がある。
事務局	立地適正化計画や公共交通施策の成果については、資料が手元にないため、次回に準備してお出ししたい。民間企業については私共で述べることはできないが、200円バスの成果については、乗車率の減少に歯止めを掛ける効果はあったと考えている。地域あいのりタクシーは、導入地域は少しずつ増えている。
委員	中心市街地で事業をしている中で、ながせ商店街の通行量は2年前と比べて倍増している。今年はコロナ禍でも少しずつ増えている。そういったこと皆さんに知って頂き、課題についてもしっかり見て頂き、その中で新庁舎の役割をどうしていくか、こういうまちにしていきたいという未来への投資的な観点で市庁舎を考える必要がある。
委員長	多治見のまち自体がしばみ、まとまりつつある。地域の交通は全国的にも対策が後追いになって、歯止めがかからず悪循環になる。その中で新しい庁舎の構想は意味を持ってくるので、そこら辺りと調和して行くことが大事である。
委員	子育て世代はバスに乗ることはほとんどない。駐車場がないと行けない。駅北庁舎の保健センターへは、小さな子どもを連れてお母さんたちが行くが、地下の駐車場が少ない。新しい庁舎の駐車場候補地はもっと遠くになり、ベビーカーに子どもを乗せていくのは大変である。若い世代を呼ぶためには駐車場問題は大事である。
委員長	多治見の中心市街地が衰退したのは、皆が車に乗ったためである。少し不便でも歩かないと、便利だけを求めると中心市街地は郊外に負けてしまう。駐車場を配置するために市庁舎も郊外へ行くと、中心市街地が廃れてばらばらになる。保健センターに子育て世代が集まって来られるのは、市としては努力している。あの辺りでは車がなくても生活や子育てができています。駅北立体駐車場から歩くのは大変であるが、公園もあり、

	30年前からは劇的に変化している。
委員	まだ多治見は山側に住んでいる人が多いので、遠くても駐車場をしっかりと用意してもらい、雨に濡れずに行けるように考えてもらえると安心して利用できる。
委員	多治見市の審議会は女性の比率が40%以上で、評価をされているが、この委員会での比率は女性が少ないと思う。ジェンダーにこだわらず市民の立場で意見を言うと、人口の減少化、高齢化は避けられない中で、今の車中心の生活が今後どのようなようになるかが課題である。中心部に商業施設や、行政、医療機関等が集中しているまちづくりの構想に対する安心感がよく聞く意見である。自分は駅北庁舎に関わっている中で、市民課、子ども支援課、教育委員会、保健センター等があり、全ての情報を得て交流できることの安心感が大きいと感じる。今後の新庁舎の構想については、広く皆さんの意見を述べて行きたい。
委員長	今は駅北庁舎に市民サービスが集約され、安心感がある。新庁舎の構想はそれをもっと良くしていく、どのように繋げていくかが重要である。
委員	ソサイエティ 5.0 は、SDG s も含めて2030年が目標であるが、10年も経つと人口、生活パターン、生き方、環境、全てが変わってくる。行政についても考えると、中心市街地だけでなく、郊外もよくすることを考えないといけない。費用についても、これから高層ビルがよいか、低い方がよいか、施設は一箇所に集中すべきか、分かれる方がよいか、10年、20年先の予測に基づいたまちづくりが必要である。
委員長	おっしゃるとおり何でも集中すれば良いというわけでもない。多治見の将来像を考えると結論はネットワーク型コンパクトシティに行き着くが、何を集めて何を分散させるかが重要である。
委員	市民アンケートでは、皆さんが困っている問題は交通渋滞である。コンパクトシティで便利になる反面、渋滞の問題が発生する。道路の問題はどのように考えているのか。駅南の人は駅北に集中すると不便である。市民サービスとしては集中することは便利であるが渋滞の問題がある。施設の集約についても、例えばハローワークはいつも満車で混んでいる。そういうものも庁舎に入れるというような構想も考えてみたらよい。
事務局	多治見市の南北の交通渋滞は大きな課題であるが、一つは白山町の大踏切をどう渡るか、一つは国道248号線の19号線との交差点から国長橋までの混雑である。 国道248号線については、仮称「平和・太平線」の構想があるが、市としては余りに大きな事業のため、県に働きかけている。大踏切については、大踏切の上か下を直接通す「白山・豊岡線」と旧保健センター横のアンダーパスを拡張する「音羽・小田線」の構想があるが、「音羽・小田線」を先に事業を行う予定である。 他の庁舎を入れることについては、法務局に声をかけたところ、新庁舎が駅北庁舎の隣であれば前向きに考えて頂けるとの返答があった。ハローワークについては、建物が新しいこともあり、難しいようである。
委員長	この議論については、直接市庁舎の構想に結びつくのは難しいが、議論をしておくことは、一つの方角へまとめていく上では大事である。また次回以降も続けていく。

委員	公共交通については、民間企業との関わりが深い。他の市で、民間企業が路線バスだけで成り立っている事例があるのか、補助金なしで成り立っている事例があるのかを調べた資料をお願いしたい。大都市でなければ民間企業が黒字になるところは有り得ない。老後は車を使わなくなり、公共交通に頼らざるを得ないので、どう民間企業と市が協力して市民の脚を確保するかである。
委員長	次に、多治見市の将来像を描きながら、新庁舎構想について、どういう役割が求められるかについて事務局から説明をして頂く。
事務局	(資料3に沿って「新庁舎に求められるもの」について説明)
委員長	次回以降の論点や視点等についてご意見があるか。
委員	昨年1月に行われた市による市民説明会、8月に行われた議会による対話集会での280名のコメント110件について分析し、貴重な意見を8つのグループに分けた。 1番目はハードな反対。これは費用の問題、駅の一等地での建設に対する強固な反対である。2番目はソフトな反対。これは決定プロセスに市民の声が反映されていない、決め方が早すぎる、コロナ禍のタイミングが良くないというソフトな反対である。3番目が建設賛成、条件付きで容認するソフトな賛成である。4番目以降は賛成反対が未定・不明である。4番目が跡地利用不明、川南地区への対策不明が理由。5番目は交通渋滞、駐車場不足の不安が理由。6番目に建設基本計画、市の将来プランの不明が理由。7番目は防災拠点としての不安が理由。8番目にその他であるが、反対と賛成を合わせても50人、45%であり、半数以上の人は意見を言える状況ではないことがわかる。 この問題が市民にはよくわかっていないということを踏まえて地区懇談会等で説明する必要がある。2番目のソフトな反対は内容によって賛成に回り、3番目の条件付き賛成も、条件が満たされれば積極的な賛成に変わる可能性がある。 もう一つの注目は、新聞記事によると、2021年度多治見市予算は新型コロナウイルスによる景気不振の影響により前年比市税は5%の減少、地方消費税交付金が7%の減少で、合計約9億円の減収の見込みという厳しい財政状況にある。いつコロナが終息し、いつまで経済的後遺症が残るかわからない中で、建設費削減は必要である。全て税金ではなく、生産性を5%上げ、人件費を削減するなどの業務改革、身を切る努力により、費用を捻出する決断が求められるのではないか。 私の考えを言うと、建替えは賛成であり、市庁舎は1箇所にあるべきであると考え。しかし、いかに建設費用を削減するかが問題である。建設基本構想によると、現在の駅北庁舎と新本庁舎を併せて約18,000㎡になり、広すぎると考えるので建築床面積の削減は必須である。新庁舎はコンパクト、高機能、SDGsの実現をキーワードにしたらどうか。 それから新庁舎の耐用年数を100年とすることについては、最新の建物でも50年経てば陳腐化するので、50年でよいと考える。 また、立体駐車場は造らない方がよい。駐車場を造らないことは交通渋滞を減らすメリットがある。現在の地下駐車場60台を思いやり駐車場にして、その他は多少不便であっても駅北立体駐車場と駅南の立体駐車場を利用し、固定費を造らないようにするべ

	きである。幹部の公用車は新庁舎に小規模なものを敷設し、一般の公用車は近隣でアウトソーシングする。建替えと業務改革の２本柱にして、市の熱意と努力を示さないと市民の理解を得られない。
委員	現庁舎の現状については、一定の理解はしたと思うが、これに基づいて言うと、建設費の調達方法について、返済方法について、利息を含めた総額と返済方法についてと、今後の税収入との関連について今後検討したいので資料をお願いしたい。 それから、例えば市役所のハード（建物）をリースにする発想はないのか、前例があるのかを調べて欲しい。営利企業の発想で、少なくとも駐車場については、外部で調達（アウトソーシング）して建設費用を縮減できるのではないかな。今後、資金的な面での検討をしたい。
委員	今後の課題は年代にある。今の５０代、６０代が１０年後はインターネットを使い、スマホも使うなど、IT 機器を活用した生活をしている。今の多治見市の年代別の人口は、これから１０年後、どんな生活を想定していけるかを知る目安になるので、次回資料をお願いしたい。
委員	青年会議所では、２０代、３０代の仲間が多いが、ICT によって生産性を上げること注目している。１０代を含めた世代はスマートフォンを使っていることを前提としている。行政機関として前提とするのは難しいかもしれないが、ここ２、３年で ICT の導入している前例があれば、その取り組みと効果について資料を準備して欲しい。それによって生産性向上や床面積の縮減、人員削減等の可能性が見えてくるのではないかな。
委員長	他に意見はあるか。具体的で細かい議論と大きな議論があったが、委員会として忌憚のない意見交換をすることは大事である。場所の問題は大きな問題で、ここで決めるつもりはないが、委員会としては、ある程度明確にして頂いた方が、議論はしやすいので、ご意見を頂けるとよい。 まちづくり、ネットワーク型コンパクトシティをどう広げて、どう狭めるかについて役割を整理して、議論を進めて行きたい。宿題をいくつか頂いたので、次回までに事務局で可能な限り対応して頂くと有り難い。
３ 次回以降の日程	
事務局	次回の日程について、４月１９日（金）午後１時３０分から本庁舎５階全員協議会室で開催を予定してよろしいか。ご了承いただいたので、予定どおり行う。 会議録は調製が出来次第、郵送により各委員へ確認を取らせて頂く。
委員長	今回は前半で駅周辺のまちづくりと現本庁舎周辺のまちづくりを事務局から資料を出してもらい、議論したい。後半では、今日の（２）「建替えの必要性」と（３）「新庁舎に求められもの」についてご意見を頂き、宿題も頂いたので、資料は間に合うものを揃えて、時間のある限り議論したい。前半の資料はできるだけ早い段階で資料をお渡ししたい。それではこれでは閉会とする。
<会議終了>	